

西ノ島町

総合福祉施設体制整備 基本計画

第1回 ▶ これまでの経緯と基本計画の全体像

はじめに

西ノ島町の人口は2,395人(令和8年3月末)、高齢化率は49.1%。町民の約2人に1人が65歳以上という状況のなか、介護福祉サービスを支える施設の老朽化と、担い手不足という課題に直面しています。

このたび、将来にわたり安心して暮らせる西ノ島をつくるため、「西ノ島町総合福祉施設体制整備基本計画」を令和8年3月に策定しました。広報にしのみまでは、3回にわたって計画の内容をお伝えします。

なぜ、今この計画が必要？



施設の老朽化が限界に

特別養護老人ホーム「和光苑」は昭和59年建設で、すでに築40年を経過。小規模多機能型居宅介護「本郷」も昭和45年建設で、老朽化が深刻です。



介護人材が足りない

全国的な課題でもある介護スタッフの不足は、西ノ島町でも深刻です。限られた人員で質の高いサービスを続けるために、施設の再編・効率化が欠かせません。



医療と福祉の連携強化

隠岐島前病院の建て替え候補地である旧黒木小学校跡地に医療と福祉の各機能が集約されることで、より一体的な医療・介護サービスが実現します。

基本構想から基本計画までの流れ

① 令和5年12月～
令和6年3月

住民アンケートの 実施・現状分析



町民の皆さんの介護福祉への意識や意向を調査。将来の人口推計を踏まえた課題を整理し、策定委員会・ワーキングチームで共有しました。

② 令和6年3月～8月

事業シミュレーション・ 移転先の検討



特別養護老人ホームの今後の在り方や、小規模多機能型居宅介護の事業シミュレーションを実施。移転候補地の検討を行いました。

③ 令和6年10月

「基本構想」の策定・ 方針決定



概ね20年後を見据えた施設整備・再構築の方向性を「基本構想」として策定。別府拠点への集約という大きな方針が決められました。

④ 令和7年4月～

基本計画の検討・ 策定作業



構想を具体化するため、施設ごとの規模・機能・工事費・スケジュールを検討。副町長を委員長とする策定委員会と、島前病院・西ノ島町社会福祉協議会・西ノ島福祉会・シオンの園など現場職員によるワーキングチームで議論を重ねました。

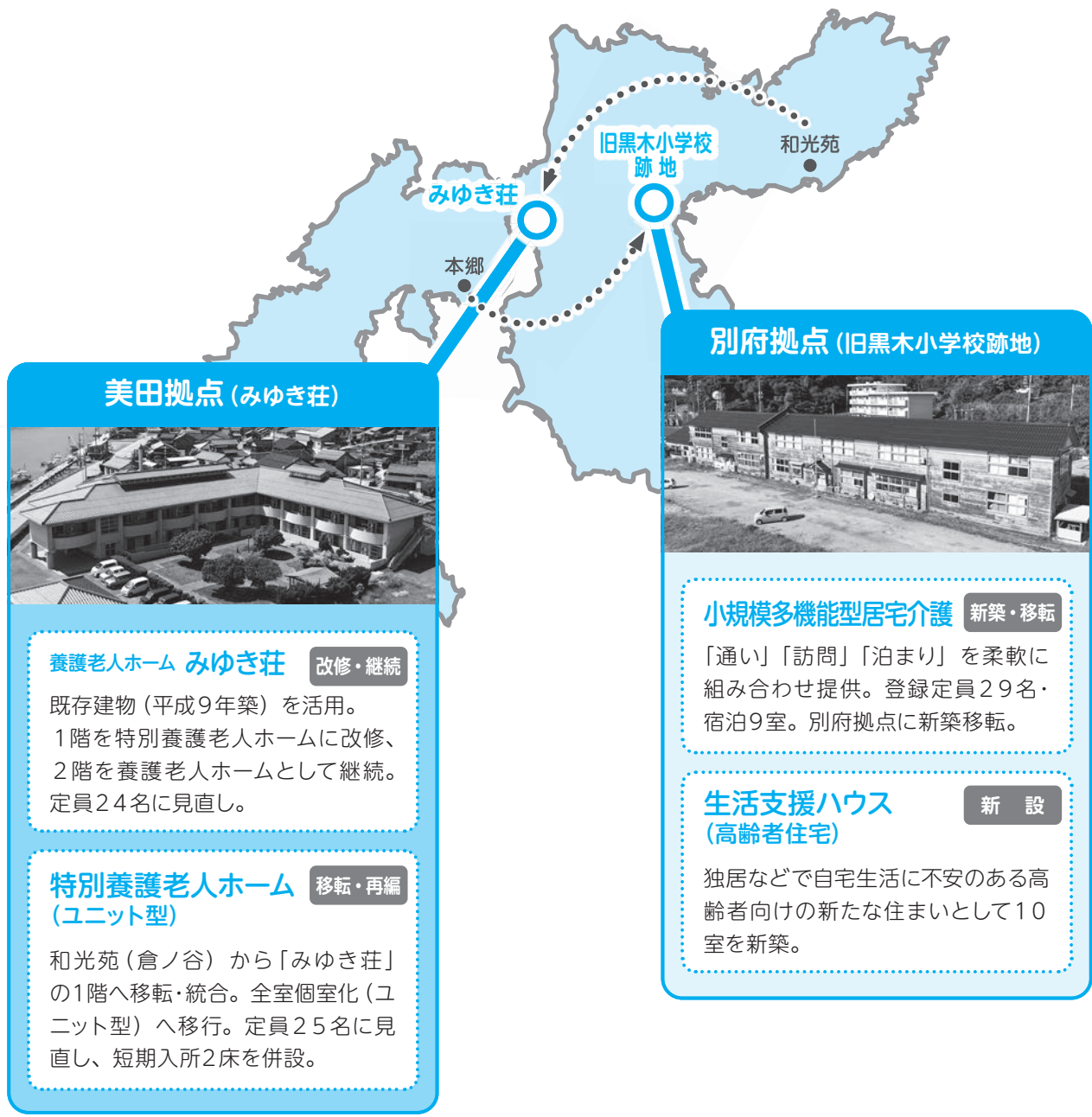
⑤ 令和8年3月

「基本計画」が 完成



各施設の具体的な整備内容・スケジュール・事業収支などを定めた「西ノ島町総合福祉施設体制整備基本計画」が完成しました。

整備される施設の全体像



【次号予告】7月号では…
旧黒木小学校跡地を活用した「別府拠点」
がどのような場所になるのか、具体的なイ
メージをお伝えします。

より詳しく知りたい方は…

西ノ島町のホームページに、
基本計画の本編及び概要
版を掲載しております。



西ノ島町の現状 (令和8年3月末時点)



高齢化率
49.1%
(約2人に1人が65歳以上)